CELICA
コンバーチブル



取　扱　書

よくお読みになってご使用ください。 取扱書は車の中に保管しましょう。

このたびはトヨタ車をお買いあげいただきありがとうございます。

車は万一取り扱いを誤ると
故障や事故の原因になります。
ご使用前に本書を必ずお読みください。

- 本書は、セリカ コンバーチブル車独自の装備に関し、正しい取り扱い方法について説明していますので、ぜひご一読ください。
- とくに

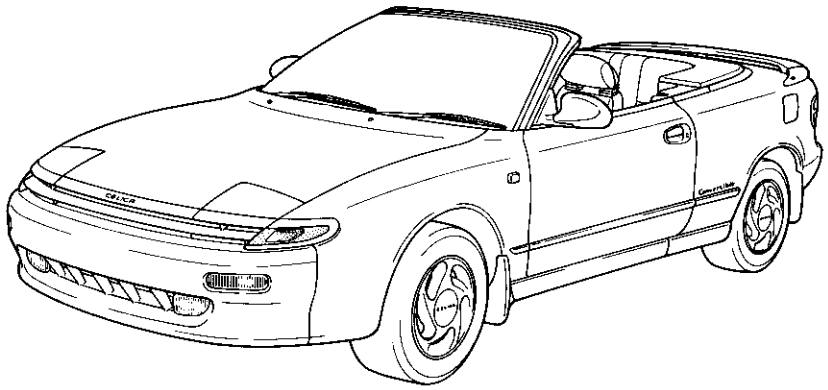


および


は、しっかりとお読みください。

- 本書以外の取り扱いは、トヨタ セリカ取扱書をご覧ください。

※車をゆずられる場合、次のオーナーのために本書を車につけておいてください。



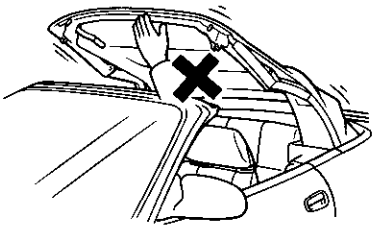
無断複製禁止

目　次 CONTENTS

コンバーチブルパワートップ(幌)の取り扱い　2

専用装備の使い方、車の手入れ　8

コンバーチブルパワートップ(幌)の取り扱い注意事項



1．幌の開閉作動中に、幌機構部や作動部付近（サイドルーフレールおよびリンク）へは絶対に手をいれないでください。
2．開閉操作前に、幌およびリヤシート背もたれとトランクの間に物が置かれていないことを確認してください。小さな物でも開閉操作に支障をきたし、故障の原因となります。
3．幌を半開閉状態のまま走行することは絶対に行わないでください。
4．気温が5℃以下のときは、幌の操作をしないでください。幌地が傷むおそれがあります。
5．開けるときは幌の上に水がないことを確認してください。幌表面の水が車内に落ちてくることがあります。
6．自動洗車機、高圧洗車機は使用しないでください。幌およびリヤウインドウを破損するおそれがあります。
7．リヤウインドウがよごれているときに幌を操作しないでください。リヤウインドウを傷つけるおそれがあります。

無断複製禁止

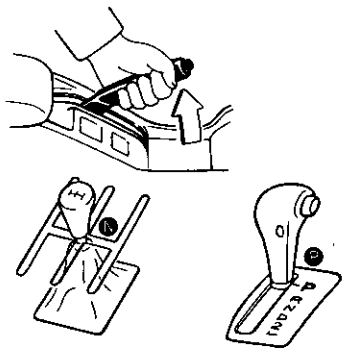
コンバーチブルパワートップ(幌)の取り扱い

コンバーチブルパワートップ(幌)

幌の開け方

幌を開く前に(準備)

1. パーキング(駐車)ブレーキをかけ、チェンジレバーをオートマチックトランスミッション車は Ⓟ、マニュアルトランスミッション車はⓃの位置にします。

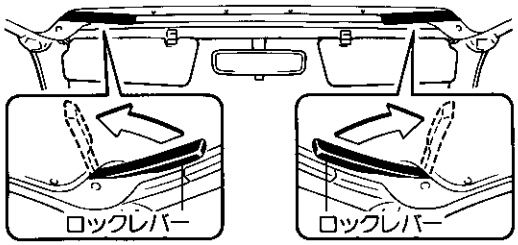


2. エンジンをかけます。

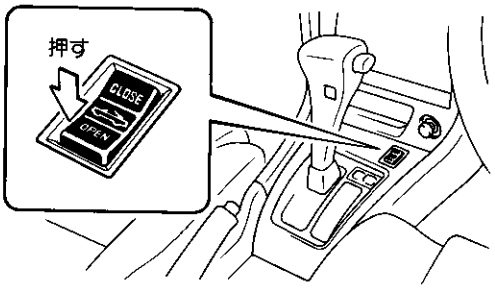
3. リヤサイドウインドゥを下げます。⇨8ページの「**パワー(電動)リヤサイドウインドゥ**」を参照してください。

幌の開け方

1. 左右のサンバイザーを下げます。
2. ロックレバー（左右2カ所）を引き、ロックを解除します。



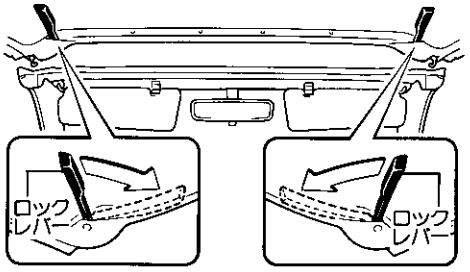
3. スイッチのＯＰＥＮ側を押すと幌が開きます。スイッチから手を離すとその位置で停止します。





スイッチを押しても幌が作動しないときは、油圧ポンプのレバーが**電動**側になっていることを確認してください。⇨6ページの「**スイッチを押しても作動しないときは**」を参照してください。

4. 幌が10cmぐらい開いたら、ロックレバーをもどします。



5. 幌が完全に開いたらスイッチから手を離します。

6. サンバイザーをもどします。

無断複製禁止

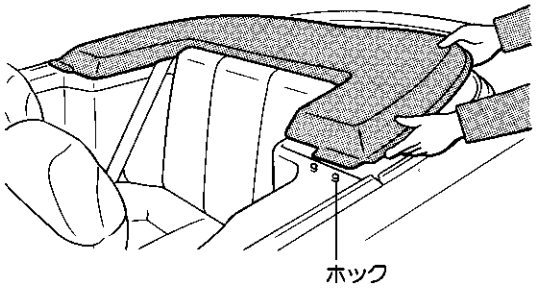
幌を開いたときは(幌カバーの取りつけ方)

1. トランクから幌カバーを取り出します。

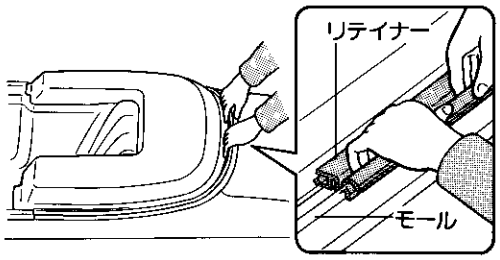


幌が完全に開いていないと幌カバーを取りつけることができません。

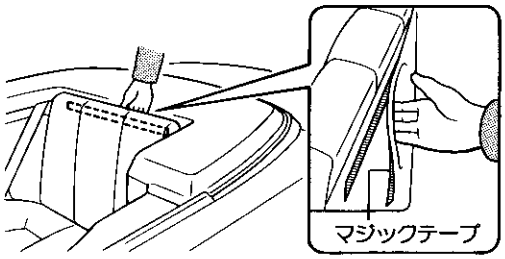
2. 幌カバーを、車両についているホックに固定します。



3. 幌カバーのリテイナーを車両のモールに確実にはめ込みます。



4. 幌カバーのマジックテープをリヤシートの背もたれに押さえつけて固定します。

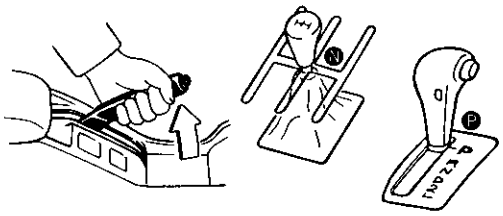


無断複製禁止

幌の閉じ方

幌を閉じる前に(準備)

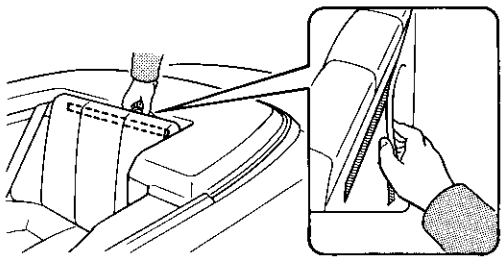
1. パーキング(駐車)ブレーキをかけ、チェンジレバーをオートマチックトランスミッション車は Ⓟ、マニュアルトランスミッション車はⓃの位置にします。



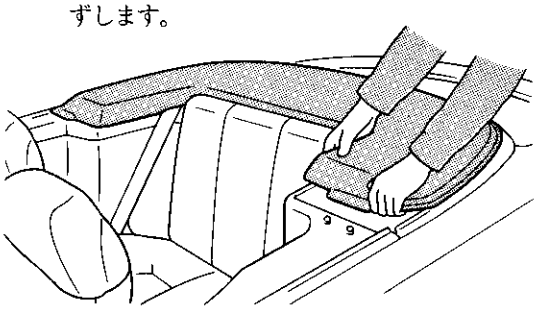
2. エンジンをかけます。

3. リヤサイドウインドウを下げます。⇨8ページの「**パワー(電動)リヤサイドウインドウ**」を参照してください。

4. 幌カバーのマジックテープをリヤシートの背もたれからはがします。

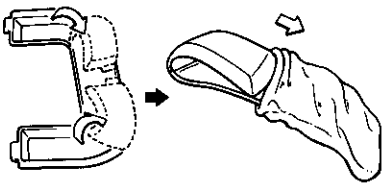


5. 幌カバーをホックからはずし、カバーを取りはずします。





はずした幌カバーは折りたたんで収納袋に入れ、トランクに収納してください。

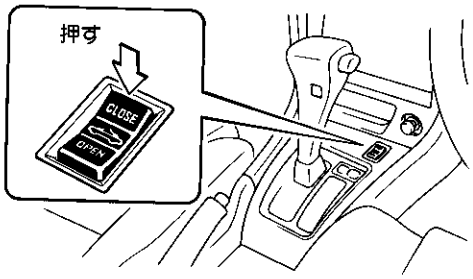


無断複製禁止

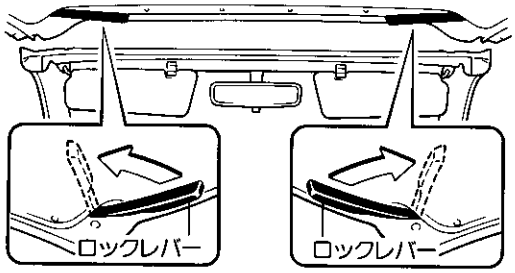
幌の閉じ方

1. 左右のサンバイザーを下げます。

2. スイッチのＣＬＯＳＥ側を押すと幌が閉じます。スイッチから手を離すとその位置で停止します。



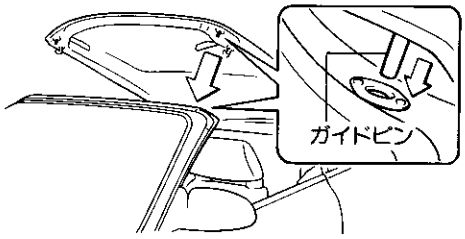
3. 幌が10cmぐらいまで閉じたら、ロックレバーを引き出します。



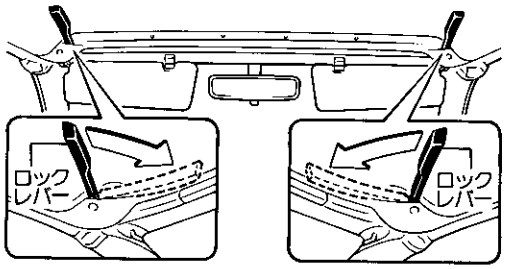

ちょっと一言

スイッチを押しても幌が作動しないときは、油圧ポンプのレバーが**電動側**になっていることを確認してください。
⇨６ページの「**スイッチを押しても作動しないときは**」を参照してください。

4. 幌前部についているガイドピン（左右２カ所）がフロントガラス上部の穴にはいったらスイッチから手を離します。

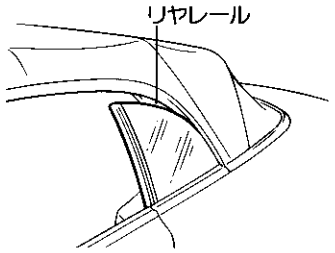


5. ロックレバーで幌を固定します。




ちょっと一言

1. 幌が確実に固定されたことを確認してください。
2. リヤサイドウインドウが完全に下がっていないときに幌を閉めると、ウインドウガラスが幌のリヤレールにはいらないことがあります。この場合は、一度ウインドウガラスをいっぱい下げてから上げるとリヤレールにはいります。

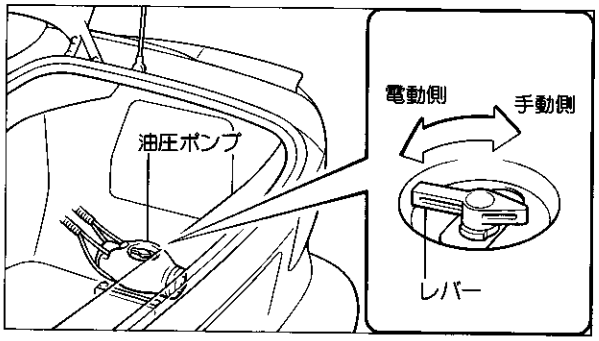


6. サンバイザーをもどします。

無断複製禁止

スイッチを押しても作動しないときは

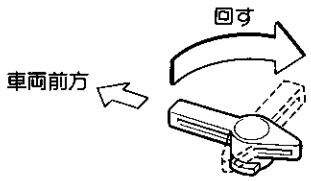
万一、スイッチを押しても幌が動かないときには、トランク右側にある油圧ポンプのレバーを手動側にして、幌を手動で動かしてください。



開け方

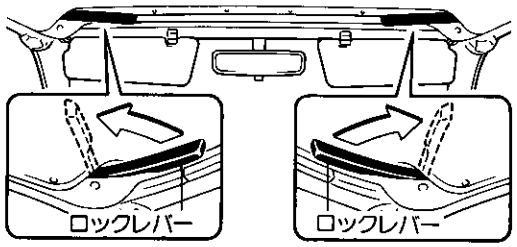
1. リヤサイドウインドウを下げます。⇨8ページの「**パワー(電動)リヤサイドウインドウ**」を参照してください。

2. 油圧ポンプのレバーを手動側にします。

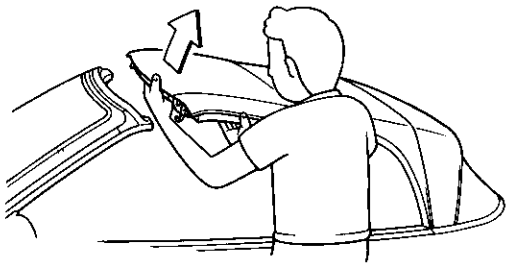


3. 左右のサンバイザーを下げます。

4. ロックレバーを引き、ロックを解除します。

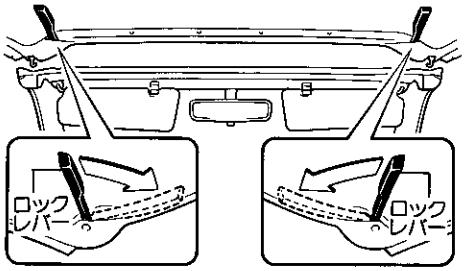


5. 幌枠の中央を持って幌を持ち上げます。

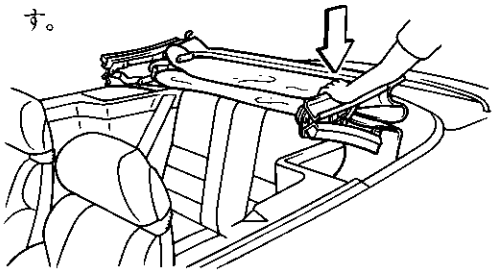


注意！ 幌を持ち上げるときは、指をはさまないように注意してください。

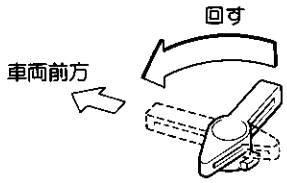
6. 幌を10cmぐらい開けたら、ロックレバーをもどします。



7. 幌が完全に下がるまでゆっくりと後方に押します。



8. 油圧ポンプのレバーを電動側に戻します。



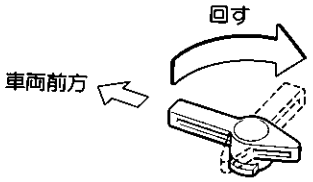
9. 左右のサンバイザーをもどします。

無断複製禁止

閉じ方

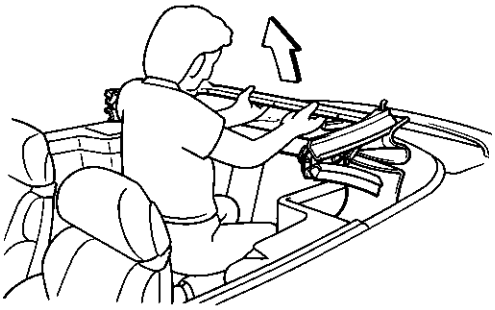
1. リヤサイドウインドウを下げます。⇨8ページの「**パワー(電動)リヤサイドウインドウ**」を参照してください。

2. 油圧ポンプのレバーを手動側にします。

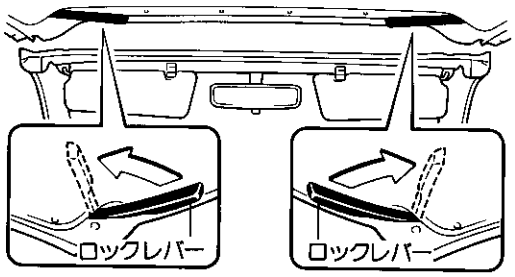


3. 左右のサンバイザーを下げます。

4. リヤシートに乗り、幌枠の中央をしっかり持って、ゆっくり幌を持ち上げます。



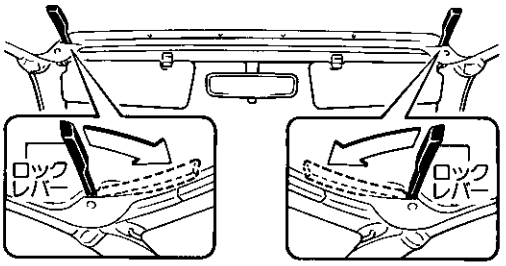
5. 幌を10cmぐらいまで閉じたら、ロックレバーを引き出します。



6. 幌がフロントガラス上部に触れるまで閉めます。

7. フロントシートにすわり、幌の外側前端を持って、フロントガラス上部の穴にガイドピンをはめます。

8. 幌を押さえたまま、ロックレバーで固定します。

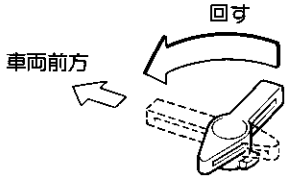




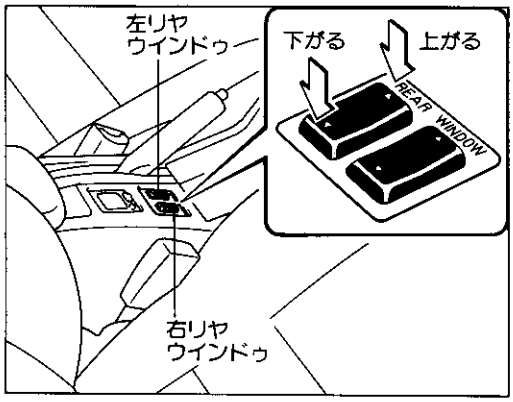
幌が確実に固定されたことを確認してください。

9. サンバイザーをもどします。

10. 油圧ポンプのレバーを電動側に戻します。



無断複製禁止



パワー(電動)リヤサイドウインドゥ

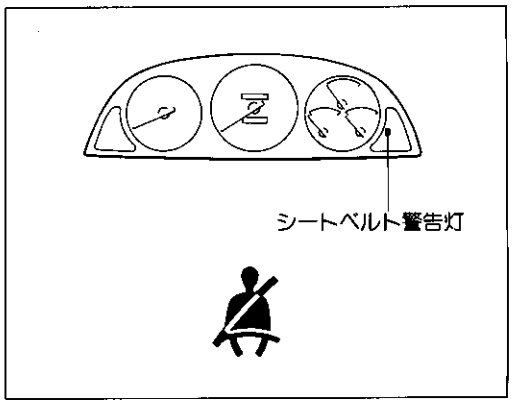


1. ウインドゥガラスの開閉は、バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっているときに行ってください。
2. 3つ以上のウインドゥの開閉を同時に行うことはさけてください。

■リヤサイドウインドゥの開閉

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

- スイッチのうしろ側を押すと開き、前側を押すと閉じます。
- スイッチから手を離すと、ウインドゥガラスの動きは、その位置で停止します。

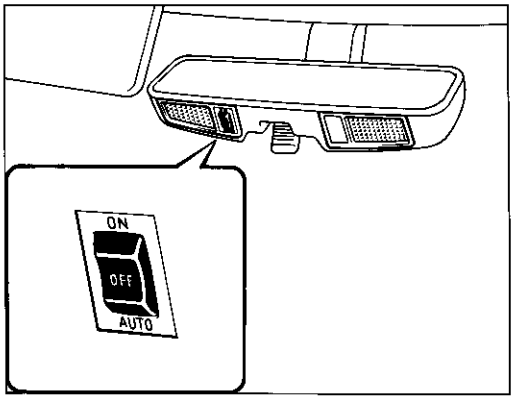


シートベルト警告灯

シートベルトの装着の有無にかかわらず、エンジンスイッチをONにすると約6秒間点滅し、シートベルトを装着するようにうながします。

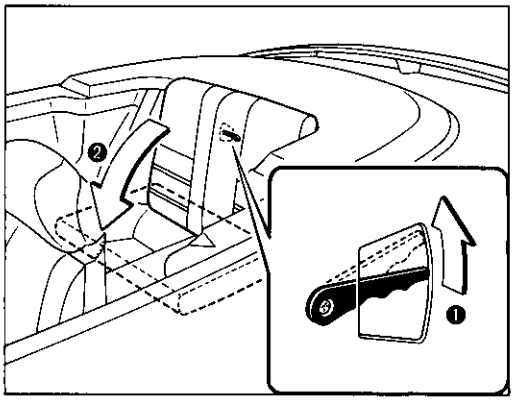


リヤシートベルトの装着のしかたは、フロントシートベルトと同じです。



室内灯

- スイッチの前側を押すと、ドアを開けたときに点灯し、閉じると消灯します。
- スイッチのうしろ側を押すと、ドアの開閉に関係なく点灯します。
- スイッチを中立の位置にすると点灯しません。



リヤシート

背もたれを前方に倒すことができます。

▶倒し方

❶レバーを引き上げ❷背もたれを倒します。

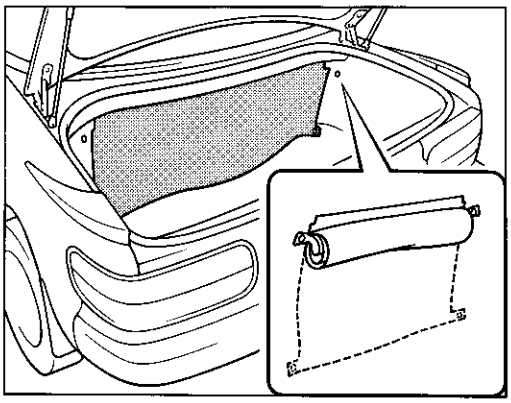
▶起こし方

背もたれを起こして、うしろに押えつけると自動的に固定されます。背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。



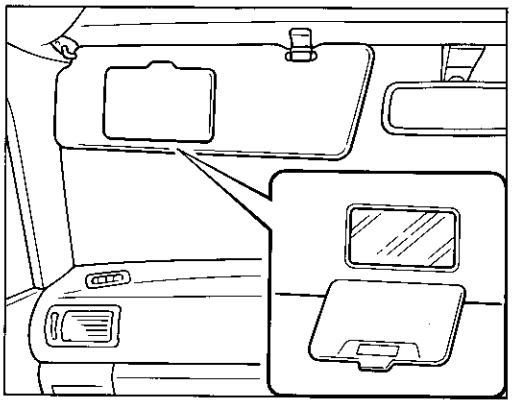
フロントシートの背もたれより高く荷物を積まないでください。ブレーキを踏んだときに荷物がすべり落ちて危険です。

無断複製禁止



トランクインナーカバー

カバーを開けることもできます。通常はカバーを下げておいてください。



バニティミラー(化粧ミラー)

運転席および助手席サンバイザーの裏面についています。使用しないときは閉じておいてください。

車の手入れ

■幌、リヤウインドゥの手入れ

1.十分水をかけながら、スポンジや布でよごれを洗い落とします。
2.よごれのひどいときは、トヨタ純正カーシャンプーを使用します。カーシャンプーを使用したあとは水で十分洗い流してください。

注意！

1.自動洗車機、高圧洗車機は使用しないでください。幌およびリヤウインドゥを破損するおそれがあります。
2.リヤウインドゥは、塩化ビニール製です。傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
3.漂白剤、シンナー、アルコールなどの薬剤や溶剤は使用しないでください。

無断複製禁止

お問い合わせ、ご相談は
右記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター
●名古屋(本部)(052)952-3333
●札 幌(011)852-3333 ●大 阪(06) 252-2255
●秋 田(0188)65-7333 ●広 島(082)231-5333
●仙 台(022)267-3333 ●高 松(0878)23-4333
●東 京(03) 817-7333 ●福 岡(092)938-3333
●金 沢(0762)45-1333 ●鹿児島(0992)27-5333
本部所在地　〒461 名古屋市東区泉1丁目23-22

トヨタ自動車株式会社
●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。
●印刷　ＮＡ－1990年４月16日　●発行－1990年４月20日(非売品)

無断複製禁止
M20093
01999—20093